

令和6年第3回太良町議会  
(定例会第2回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 20	1	待永るい子	<b>1. 太良町特産品等振興施設について</b> 施設の設置及び管理に関する条例に「地域資源を活用した加工品の製造・販売等を行う」と明記してある太良町特産品等振興施設について問う。 (1) 建設に至った経緯と目的は何か。 (2) 建設費を含め現在までどれくらいの町費を支出したのか。 (3) 今後の活用についてはどのように考えているのか。	町 長
			<b>2. 漁師の館跡地について</b> 一昨年3月、16年間の営業を閉じた漁師の館跡地について問う。 (1) どのような経過で太良町の管理になったのか。 (2) 撤去に至った理由と撤去に要した金額はいくらか。 (3) 今後の活用についてどのように考えているのか。	町 長
			<b>3. 活性化センターゆたたり館について</b> たらふく館の隣に建設された活性化センターゆたたり館について問う。 (1) 建設に至った経緯と金額はいくらか。 (2) 建設された目的と過去3年間の使用頻度はどうなっているか。 (3) 今後の活用内容はどのように考えているのか。	町 長
5. 21	2	森田 政則	<b>1. 自然災害対策について</b> 昨今は、いつ、どこで、自然災害が起きても不思議ではない状況である。地震、津波、大雨、台風等々、これらの災害を乗り切るためには、前もっての対策が必要と考えられる。そこで以下について問う。  (1) 現在、どのような対策を取られているのか。また、町民に対して避難方法や避難所情報の周知徹底をどのようにされているのか。 (2) 避難訓練等は実施されているのか。 (3) 災害が起きた際の避難所ではどのように対応されているか。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5. 21	3	山口 一生	<b>1. 住環境の整備について</b> 町内における空き家戸数は年々増加しており、管理不足による近隣住宅への被害や地域の活性化を阻害する大きな要因となっている。人口問題に直結する住環境の整備について問う。 (1) 直近3年間における空き家の戸数は何軒か。 (2) 空き家バンクを通じて成約に至った件数は何件か。 (3) リフォーム補助の活用状況はどうなっているか。 (4) 解体への補助は検討可能か。 (5) 宅地の確保は今後どのように行っていくか。 (6) 住環境における諸問題を解決するために、行政・建築建設業者・不動産会社・金融機関・森林組合・空き家問題の専門家などを交えた意見交換の場を設けてはどうか。	町 長
			<b>2. 「まちの人事部」創設について</b> 人口減少に伴い、本町のみならず、日本国内では人手不足が急加速している。産業の維持・継続にあたっては、喫緊の課題である町全体の人事部を創設する考えについて問う。 (1) 人手不足を補うために、外国人の雇用が広がっているが、現在の町内在住の外国人は何人か。 (2) 外国人と町民のコミュニケーションや相互理解促進についての本町の取り組みはどうなっているか。 (3) 太良町役場における人材募集の現状はどうなっているか。 (4) 一人を雇用するために係るコストはどの程度か。 (5) 求人情報を行政で取りまとめて、人材募集を広く行う取り組みは可能か。 (6) 日本全国で「まちの人事部」という取り組みが広がっているが、これはどのような取り組みか。また同様の取り組みを本町でもできないか。	町 長
5. 21	4	田川 浩	<b>1. 学校行政について</b> 国は、公立中学校の部活動を民間に委ねる「地域移行」を段階的に進めている。運動部も文化部も、まずは休日の地域移行を令和7年度末を目標達成時期と定め推進している。本町の現状とその取り組みなどについて問う。 (1) 大浦中学校の部活動の現状はどうか。 (2) 部活動の地域移行の現状はどうか。 (3) 部活の地域移行は生徒数の減少が一因だが、本町の中学校統合についてどう考えるか。	教育長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5.21	4	田川 浩	<p><b>2. 国スポ・全障スポについて</b></p> <p>今年10月に開催される「国民スポーツ大会（国スポ）」と「全国障害者スポーツ大会（全障スポ）」まで、半年を切った。以下の点について問う。</p> <p>(1) 「国スポ」と「全障スポ」の概要について。</p> <p>(2) リハーサル大会を通して改善点などはあったか。</p> <p>(3) 町民の応援、また参加意識の向上のため、どのように啓蒙していくか。</p>	町 長
5.22	5	大鋸 美里	<p><b>1. 原発関連の防災対策について</b></p> <p>令和6年5月10日玄海原子力発電所（以下原発）がある玄海町で、高濃度放射性物質いわゆる“核のゴミ”の最終処分場の文献調査を行うと玄海町長が表明した。玄海町の動向に隣接自治体のみならず太良町民からも「核のゴミとは何か?」「大丈夫なのか?」と不安の声と共に原発に関する意識が高まっている。町における原発関連の防災対策等について問う。</p> <p>(1) 玄海原子力発電所の現在の運転状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 高濃度放射性物質いわゆる核のゴミとはどのようなものか。</p> <p>(3) 原発事故の際の太良町の防災対策はどうなっているのか。</p>	町 長
			<p><b>2. 目に見えない電磁波による健康被害対策について</b></p> <p>情報化社会において様々な電子機器に囲まれ生活している。この10年で著しく向上した通信技術により、企業や公共施設・学校等における電子機器の普及活用は目覚ましく、今後も更に進展すると考えられる。その反面、日本は世界一の電磁波大国であり、昨今では病院で電磁波過敏症と診断を受ける方もおられ、電磁波による健康被害も実際に起きている状況である。電磁波による健康被害対策について問う。</p> <p>(1) 電磁波とは何か。</p> <p>(2) 電磁波が身体に及ぼす影響についてどのような症状があるのか。</p> <p>(3) 本町において効果的な電磁波対策はされているのか。</p>	町 長
5.24	6	峰 正雄	<p><b>1. 有害鳥獣の捕獲後の処理について</b></p> <p>令和6年3月定例会の中で、イノシシなど有害鳥獣の埋却の負担軽減に対して町で施設を検討しているとの事だったが、現在どうなっているのか、以下について問う。</p> <p>(1) 冷蔵施設か冷凍施設なのか。</p> <p>(2) 施設はどこに作る計画か。</p> <p>(3) どれくらいの規模を考えているか。</p> <p>(4) 施設に持ち込んだ後の処理はどのようにされるのか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
5.24	6	峰 正雄	<p><b>2. 町道等の愛路日について</b></p> <p>太良町は人口減少と高齢化で区内の町道または農道の草払い等が年々問題になってきている。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 中山間地域では雑草だけではなく、雑木が茂っている箇所もある。地区の愛路日での活動ではできる範囲を超えている現状である。これについて町としてどう考えておられるのか。</p> <p>(2) 近年は温暖化傾向で雑草等の成長が早く、これまで年2回草払い等を行っていた地区でも、さらにもう1回しないといけない状況である。業者等に委託するなどして区民の負担軽減を図ることはできないか。</p>	町 長